

# PRESS RELEASE

## 2019年度 入社式 訓示

森トラスト株式会社、森トラスト・ビルマネジメント株式会社、および森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社では、本日（4月1日）午前11時より、本社（虎ノ門2丁目タワー）にて三社合同の2019年度入社式を開催し、本日より社会人となる新入社員97名に向けて、森トラスト、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ代表取締役社長の伊達美和子より訓示が行われました。ここにその内容（要約）をご紹介します。

本日は入社おめでとうございます。特に新しい元号とともに門出を迎える記念すべき年に入社される皆さんに、心からお祝い申し上げます。

私が社長に就任した2016年から今日までを振り返ると、英国離脱に始まるEU問題、大統領選挙により局面が変わった米国の自国主義など、国際情勢は大きな変革期を迎えながらも、その解決の糸口がなかなか見えない混乱の時期でした。そして今年も、外国人受入拡大のスタート、消費税率引き上げ、またオリンピック・パラリンピックに向けた準備が活発化し始めるなど、国内の社会経済情勢も激動の一年になります。

また、働き方改革による労働時間のあり方も問われる中で、企業の競争力の源として、Tech 技術の導入・活用が一層推進されるなど、各企業は生産性向上の実現に向けて、内側から、組織だけではなく業務そのものを「変革」する時代になっています。当社の事業を見ても「情報・ヒト・モノ・コト」が繋がる時代において、どのようなハード・ソフトを提供、結合し、新たな価値を生み出していくのか、総合的に考える時代が訪れています。

そのような中で、皆さんに念頭に置いていただきたいことは、当社のような保有型の事業は、正しい立地に、正しい手法で投資を行い、正しい管理・運営を行っていくからこそ、実績、業績に繋がるといことです。中長期ビジョン「Advance2027」の第一期の最終年度である2019年度の業績は、2027年度の目標数値に達する見込みです。これは、基本となる考え方を軸に積極的投資を行い、慎重に一つ一つの事業を推進することで、賃貸・ホテル・分譲・海外投資部門の全てにおいて、順調な推移を見せている結果です。

企業とは、社会の動きやニーズのベーシックな部分を押さえながらも、新たな動きをいち早く捉え、様々な分野で正しい判断をしなければなりません。そして、その最終判断をするのは、機械ではなく、人です。当社にとって人は、戦力であり財産です。

皆さんには、未来の組織を担う人材に一日でも早くになっていただくために、考える力、企画する力、実行する力を養うことを念頭に置きながら、既成概念にとらわれない新しい発想で業務に取り組んで欲しいと思います。見聞きしたものを単純に受け止めるのではなく、その意味を考え、時には自分ならどうするかを考え、新たな方法を企画・提案してみてください。そうした試行が組織を進化させ、皆さんの将来に繋がるでしょう。

2019年、元号が変わるこの年に入社する皆さんには、平成時代の企業のあり方、働き方をリセットし、新元号にふさわしい働き方が出来る世代として期待しています。前向きに未来を信じて一歩一歩、共に、着実に歩いていきましょう。

森トラスト株式会社  
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社  
代表取締役社長 伊達 美和子